# CC1024 取扱説明書

第一版　2005.12.14
第二版　2006. 7.25
株式会社メガトンハウス

１．はじめに
１）各部の名称
２）主な画面
カメラマネージャ画面
運用画面
カメラ制御画面
３）主な機能
接続可能なカメラ機種
登録カメラ台数
登録グループ数
４）特殊機能
動体検知
パノラマビュー
AVI 録画

２．インストール方法

３．起動方法

４．使い方
カメラマネージャ画面
運用画面
カメラ制御画面

## １．はじめに

CC1024 はネットワーク上で複数台のカメラ映像を管理、制御することを目的して作られています。
CC1024 は簡単にカメラの登録を行えます。また登録を視覚的に管理できるようにグループ化しツリー構造で管理できます。ユーザーが映像表示をカスタマイズできるレイアウト画面もご用意しております。

### １）画面構成

**カメラマネージャ画面**：
カメラの登録とレイアウト画の作成を行います。初期設定をこの画面で行います。

**運用画面**：登録したカメラの映像を参照します。表示タイプは次の 4 通りあります。
4 分割または 9 分割、36 分割、レイアウト

**カメラ制御画面**：カメラを制御するときにはこのウィンドを呼び出して行います。カメラマネージャ画面や運用画面から呼び出します。

### ２）主な機能

**接続可能なカメラサーバー機種**：
VB-C50i/R　VB-C50Fi　VB150(VC-C シリーズ対応)
Panasonic(“BB-HCM311”、” BB-HCM381”対応)　VTM501M　MSC4（PTC-107HLU 対応）
VID10IP(VC-C4/R、VC-C50i/R)

**登録カメラ台数**：　最大 1024
カメラはグループに所属します。グループに登録可能なカメラ台数は 9 台までです。

**登録グループ数**：　最大 114

**表示可能な映像サイズ（ピクセル）**：160×120　320×240　640×480

**カメラ制御**：（カメラ機種によります。以下は PTC-107HLU の機能）
パン、チルト、フォーカス、ズーム、プリセット登録と実行、照明、ワイパー、クイックビュー等

**静止画作成**：カメラ映像の静止画を作成し保存します。

### ３）特殊機能

**動体検知**：映像の設定範囲内で動く物があると、映像名称が点滅して状変を知らせます。
Canon 製 VB-C50i/R と VB-C50Fi が対応しています。

**パノラマビュー**：カメラの視野範囲の JPEG を背景としたウィンドを開きます。（背景を事前に作成）
ウィンドの背景をクリックするとクリックした位置にカメラを動かします。
Canon 製 VB-C50i/R が対応しています。

**AVI 録画**：カメラ映像の AVI 録画を行います。Canon 製 VB-C50i/R が対応しています。

**音声**：音声の受信、送信を行います。 Canon 製 VB-C50i/R が対応しています。

２．インストール方法

１）Setup.exe を起動してインストールを行ってください。

インストールに必要なファイル

Setup.Exe

Setup1.msi

Setup.Ini

３．起動方法

１）次の方法で起動できます。

デスクトップ上の”CC1024”のアイコンをWクリックする。

スタート ― プログラム ― ”カメラコンソール 1024”を選択する。

２）初期画面設定

起動時に表示する画面を選択できます。

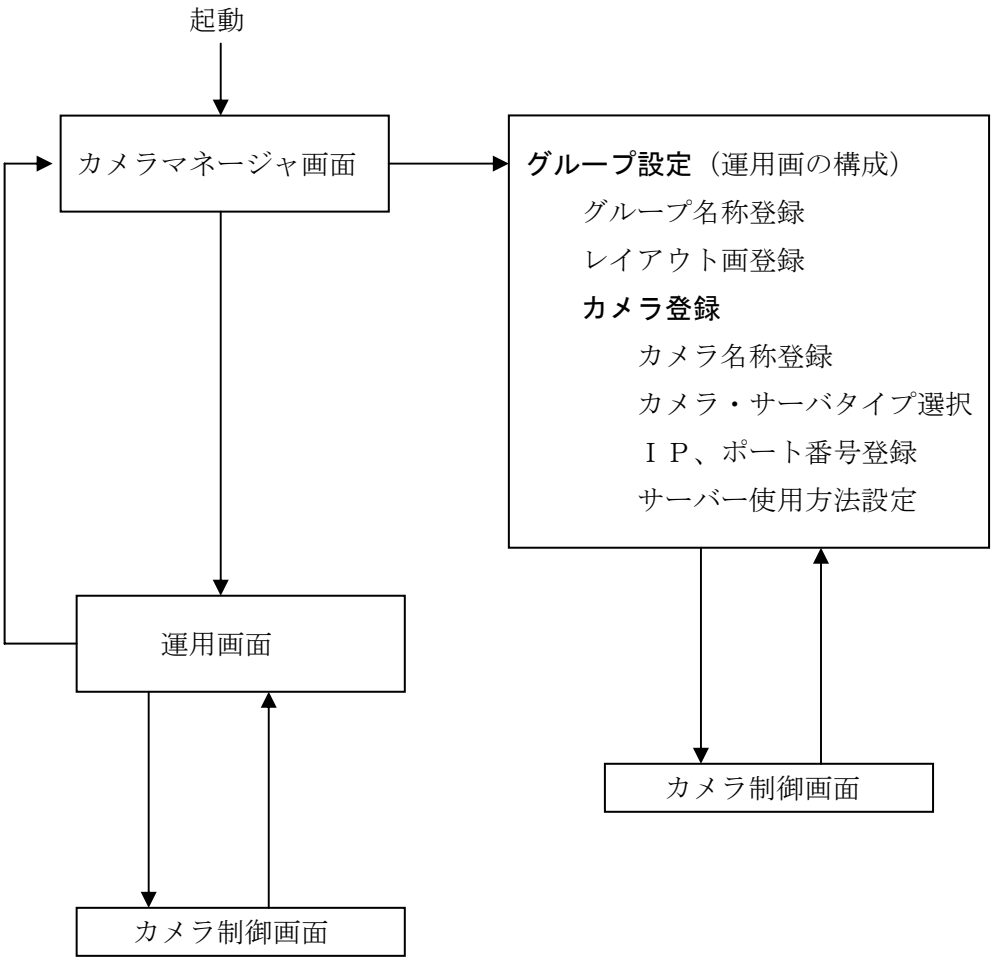
デフォルトはカメラマネージャ画面が表示されます。

初期画面を運用画面にしたい場合はデスクトップ上の”CC1024”アイコンのプロパティを変更します。

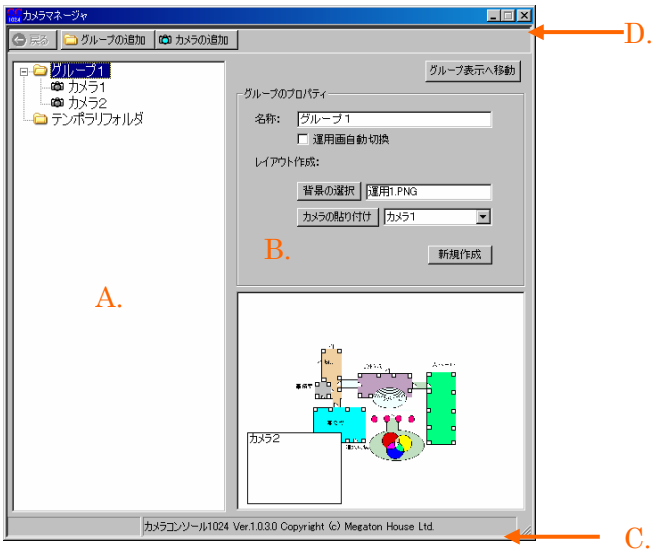
①

４．使い方

各種設定を行う「カメラマネージャ画面」、運用時に表示する「運用画面」、カメラを制御する「カメラ制御画面」の３画面に分かれます。



## ４－１．カメラマネージャ画面




各部名称

**A. フォルダエリア**：登録済の”グループ”または”カメラ”をツリー表示します。

ウィンドウズのエクスプローラのような使い方で、”グループ”と”カメラ”の追加や削除ができます。

フォルダエリアには“テンポラリフォルダ“があります。このフォルダは削除したり、名前を変更することはできません。作成中の”カメラ”を仮に登録しておく等、自由に使うフォルダです。”グループ”を削除すると、”グループ”内の”カメラ”は”テンポラリフォルダ“に移動します。

**B. プロパティエリア**：フォルダに登録した”グループ”または”カメラ”のプロパティを設定します。

“グループ”を選択時には”グループ”のプロパティを表示し、

“カメラ”を選択中には”カメラ”のプロパティを表示します。

**C. ステータス表示エリア**：

プロパティのエリアに”カメラ”を選択したときに、”カメラ”との接続状態を表示します。”グループ”を選択しているときはバージョン情報を表示します。

**D. ツールバーエリア**：

運用画へ移行するボタン、グループの追加ボタン、カメラの追加ボタンを常に表示しています。

グループとは運用画面の単位です。運用画毎のカメラ構成やレイアウト等をここで設定します。

名称、運用画自動切替登録

カメラ登録

名称登録

サーバータイプ設定、サーバーアドレス登録、使用 CH 設定

カメラ機種設定、動体検知設定

接続テスト

レイアウト

運用画背景設定

運用画映像貼付

それぞれの登録方法を記述します。

1）”グループ”追加方法は次の 2 種類あります。

・ツールバーエリアの「グループの追加」ボタンを押すとフォルダエリアに”グループ”を追加します。

・フォルダエリアの何もない場所で右クリック→POP-UP 表示→「グループの追加」をクリック。

次に”グループ”のプロパティを設定します。

“グループ”の追加が完了するとプロパティエリアには選択中の”グループ”のプロパティを表示しています。

2）グループ名称を設定してください。入力方法は次の 3 通りあります。

・プロパティエリアの「名称」で入力する。

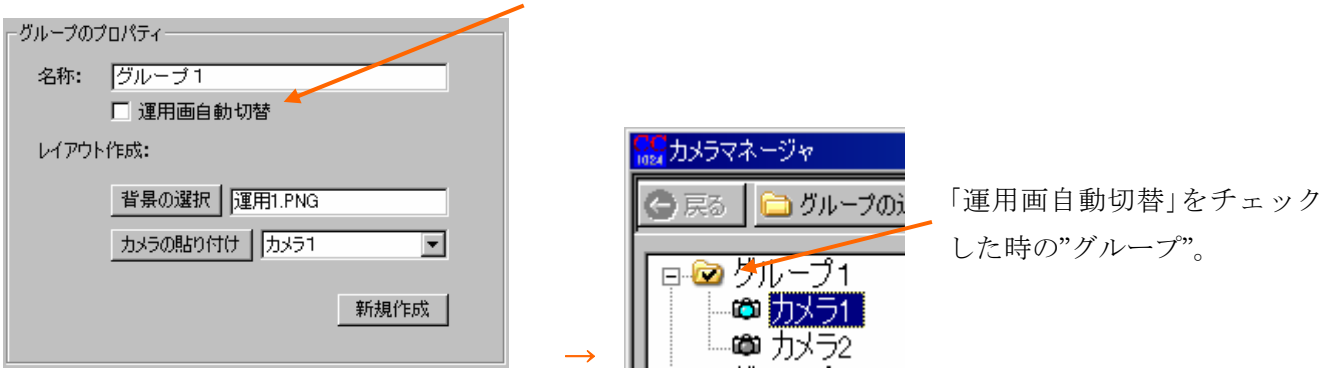
・フォルダエリア→グループ名の上で F2 キーを押すか、クリックすることで入力モードになる。

・フォルダエリア→グループ名を右クリック→POP-UP を表示→「名前の変更」→入力モードになる。

3）運用画自動切替え設定

登録されたグループを一定周期で切替える“運用画自動切替え機能“の対象にするかを設定します。

「運用画自動切替」にチェックすると自動切替えの対象になります。




次は”カメラ”の登録を行います。

4）”カメラ”の追加方法は次の通りです。
ツールバーエリアの「カメラの追加」ボタンを押すと、フォルダエリアの選択中の”グループ”の下に新規の”カメラ”を追加します。

次に”カメラ”のプロパティを設定します。
”カメラ”の追加が完了するとプロパティエリアには選択中の”カメラ”のプロパティを表示しています。

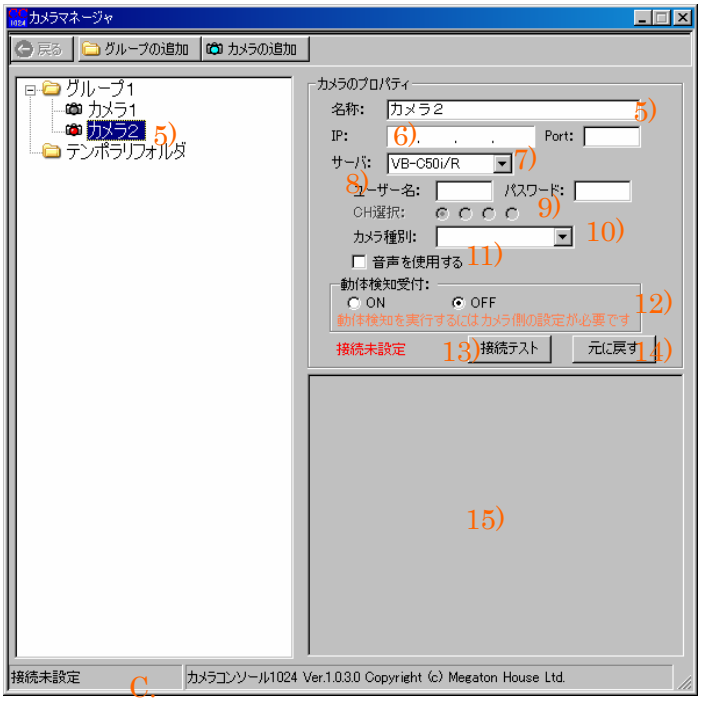
5）カメラ名称を設定してください。入力方法は次の 3 通りあります。
・プロパティエリアの「名称」で入力する。
・フォルダエリア→カメラ名の上で F2 キーを押すか、クリックすることで入力モードになる。
・フォルダエリア→カメラ名を右クリック→POP-UP を表示→「名前の変更」→入力モードになる。

6）サーバーIP とポートの設定
カメラサーバーの IP とポート番号を入力します。

7）サーバーの種類を選択します。

8）ユーザー名とパスワードを設定します。
（サーバー機種によって設定がないものもあります）

9）サーバーの CH 選択を行ってください。
（サーバー機種によって CH 選択がないものもあります）




10）カメラ種別を選択します。
対応機種が複数ある場合はプルダウンメニューから選択してください。
但し以下の機種は接続しているカメラの種別の応答する為、接続機種名を表示するのみで選択できません。(VB-C50iR/VB-50F/VB150/Panasonic※ )

11）音声機能を使用する場合はチェックしてください。
VB-C50i/R のみの機能です。

12）動体検知受付
ON にすると運用画面で動体検知を行います。
VB-C50i/R と VB-C50Fi の機能です。

以上でカメラの設定は終わりです。次はカメラに接続してみます。

13）接続テスト

（6）～(10)の設定内容に従ってカメラと接続します。接続が成功すると 15 にカメラの映像を表示します。

カメラとの接続状態が「接続テスト」ボタン左側と C.ステータス表示エリアに表示されます。

次回このカメラを選択したときには自動的にカメラと接続してプロパティエリアに映像を表示します。

14）元に戻す

（6）～(10)で設定した内容を、”カメラ”をプロパティエリアへ選択する前の設定に元に戻します。

**補足**：設定を戻すだけでカメラとの再接続は行いません。

15）カメラと接続中の時、カメラ制御画面を呼び出します。

**補足**：「接続テスト」ボタンで接続した時の設定でウィンドを呼び出します。プロパティ画面で設定を行っても「接続テスト」ボタンを押すまでは、設定内容が有効になりませんのでご注意ください。

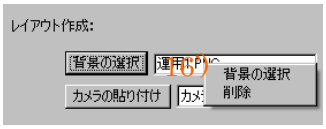
レイアウト作成

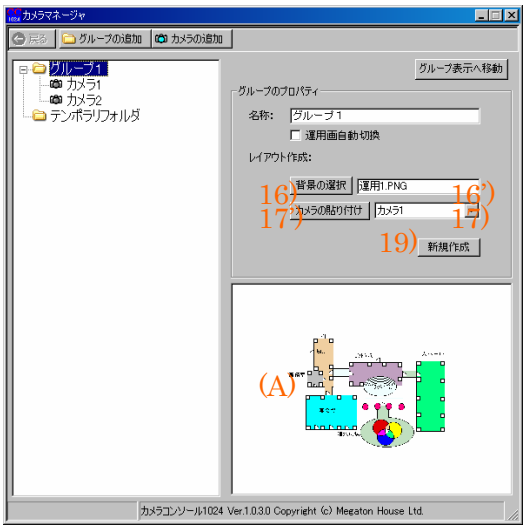
“カメラ”の登録を終えたら、”グループ”のレイアウト画を作成します。作成するかしないかは任意です。フォルダエリアで該当”グループ”を選択してください。プロパティエリアには「グループのプロパティ」を表示します。

16）背景画を選択します。

「背景の選択」ボタンを押すと背景選択ダイアログが表示されますのでそこで選んでください。

背景を破棄したい時は(16’)の上で「Del」キーを押すか、右クリック→POP-UP の「削除」を選択します。




17）映像の貼り付け

まず(17)プルダウンメニューから貼り付けたいカメラを選択します。

次に(17’)「カメラの貼り付け」ボタンを押すと、(A)作成エリア中央に映像枠が出現します。

18）映像枠の設定を行います。

・映像サイズを設定します。サイズは 3 段階あります。

映像枠を右クリック→POP-UP 表示→「サイズ」を選択します。

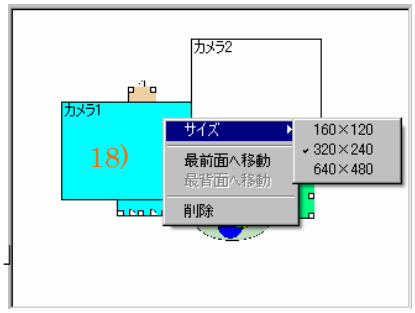
・映像表示位置を決定してください。映像枠をドラック＆ドロップして移動します。

・映像表示階層を設定できます。

映像枠を右クリック→POP-UP 表示→「最前面（又は背面）へ移動」

・映像枠の削除

映像枠をクリックして「Del」キーを押すか、右クリック→POP-UP 表示→「削除」を選択します。



19）新規作成

現在のレイアウト設定を破棄し、初期設定に戻します。

20）”グループ”と”カメラ”の修正（削除、移動、コピー）

**修正**：

登録した”グループ”や”カメラ”の設定内容の修正を行うにはフォルダエリアの該当”グループ”または”カメラ”をクリックしてプロパティエリアで作業を行ってください。

**削除**：2 通りの方法で削除することができます。

①フォルダエリアで”グループ”又は”カメラ”を選択して「Del」キーを押す。

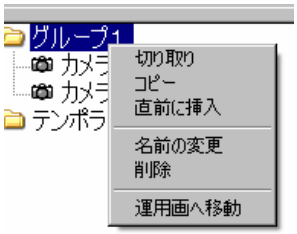
②フォルダエリアで”グループ”又は”カメラ”を右クリック→POP-UP 表示→「削除」を選ぶ。

**補足**：”グループ”の削除時、”グループ”内のカメラを”テンポラリフォルダ”へ残す必要がない場合は「Shit」キーを押しながら POP-UP メニューの「削除」を選択すると”テンポラリフォルダに”カメラ”を残しません。

**移動**：3 通りの方法で移動できます。

①フォルダエリアで”グループ” 又は”カメラ”を選択しドラッグ＆ドロップする。

②フォルダエリアで”グループ” 又は”カメラ”を右クリック→POP-UP 表示→「切り取り」を選択（移動対象が薄く表示される）→マウスカーソルを移動先へ移動し右クリック→「直前へ挿入（グループの移動)」または「貼り付け（カメラの移動)」を選択する。




[右クリックで POP-UP 表示]

③フォルダエリアで”グループ”もしくは”カメラ”を選択し、「Shit」キーを押しながら「Del」キーを押す（移動対象が薄く表示される）→マウスカーソルを移動先へ移動し右クリック→「直前へ挿入（グループの移動)」または「貼り付け（カメラの移動)」を選択する。

**コピー**：3 通りの方法でコピーできます。

①フォルダエリアで”グループ” 又は”カメラ”を選択し、「Ctrl」キーを押しながらドラッグ＆ドロップする。

②フォルダエリアで”グループ” 又は”カメラ”を右クリック→POP-UP 表示→「コピー」→マウスカーソルをコピー先へ移動し右クリック→「直前へ挿入（グループのコピー)」または「貼り付け（カメラのコピー)」を選択する。

③コピー対象の”グループ”又は”カメラ”を「Ctrl」キーを押しながらドラッグドロップする。

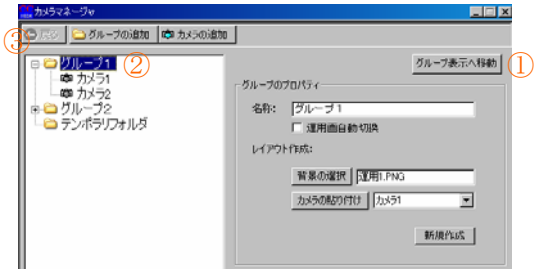
21）運用画面へ移動

“グループ”と”カメラ”の登録が完了したら、登録したグループの運用画を見ることができます。参照する”グループ”をまずフォルダエリアから選択します。

①プロパティエリアの「グループ表示へ移動」ボタンを押すと該当グループの運用画面へ移動します。
②フォルダエリアの”グループ”を W クリックするか「Enter」キーを押すと運用画面へ移動します。

**補足**：”グループ”に”カメラ”の登録が一台もない”グループ”からは運用画面に移動できません。

③「戻る」ボタンから運用画面に移動できます。運用画面で最後に開いていたグループの運用画を開きます。但し起動後一度も運用画面を開いていない場合はこのボタンを押せません。



## ４－２．運用画面

カメラマネージャ画面で登録した”カメラ”の映像をグループ別に参照する画面です。

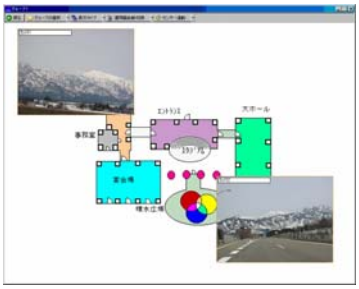
運用画の映像をクリックするとカメラ制御を行えます。

１）表示タイプは３種類あります。

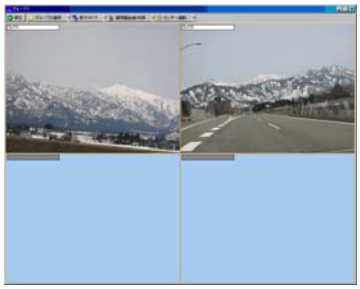
**４分割または９分割**：選択中グループのカメラ登録台数が４台以下なら４分割。５台以上なら９分割。

**36 分割**：選択中グループのカメラから以降のグループのカメラ 36 台分表示します。

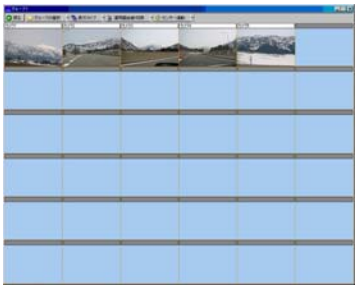
**レイアウト**：レイアウト画を作成してある場合のみ表示可能です。



[レイアウト]

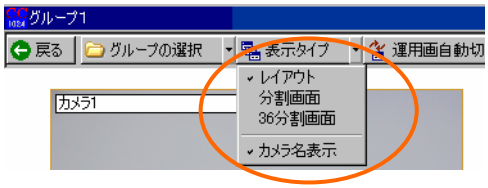


[4 分割]



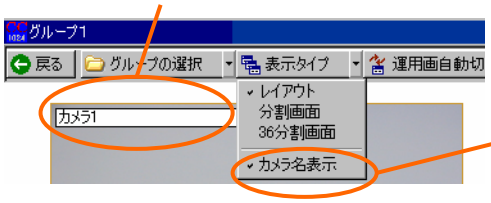
[36 分割]

表示タイプを変更するにはメニューバーの「表示タイプ」から行います。




２）カメラ名表示

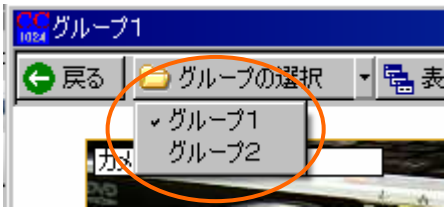
映像枠内のカメラ名表示を ON・OFF できます。




メニューバーの「表示タイプ」→「カメラ名表示」で設定します。

３）表示運用画の変更

他のグループの運用画に切り替えるにはメニューバーの「グループの選択」で行います。




メニューには登録済グループ名の一覧を表示します。

**補足**：カメラの登録が一台もないグループは運用画で表示しません。メニューにも出てきません。

表示中のグループ名はタイトルバーに表示します。

4）運用画自動切替

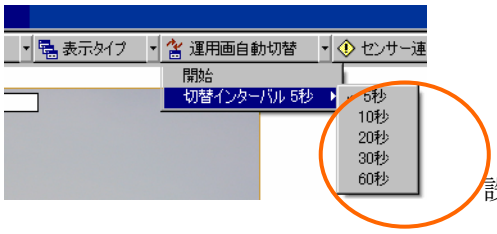
登録グループを一定周期で切替えます。

実行中は停止以外の操作を受け付けません。

**表示タイプ**：

選択中の表示タイプで切り替わります。レイアウトで自動切替えを行った場合、レイアウトの登録がないグループは分割画で表示します。

**インターバル設定**：メニューバーの「運用画自動切替」→「切替インターバル×秒」で設定します。

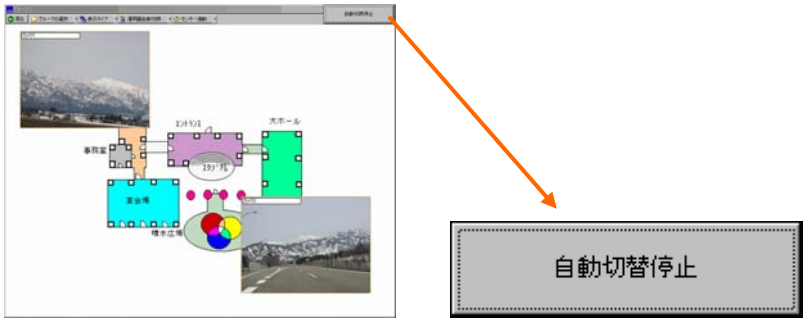



設定は５段階です。　５・10・20・30・60（秒）

**開始**：メニューバーの「運用画自動切替」→「開始」を選択すると自動切替えを開始します。

**停止**：自動切替を開始すると画面右上に「自動切替停止」ボタンが出現します。

このボタンを押すと停止します。




5）センサー連動

**検出**：VB-C50i/R と VB-C50Fi の動体検知機能を使用します。（該当カメラの限定機能）

**補足**：動体検知の設定範囲等に関してはメーカーのプログラムで予め設定しておく必要があります。

**アラームの通知**：動体検知が作動すると該当カメラの映像枠のカメラ名称が赤く点滅します。

**注意**：動体検知機能を使用する際には必ずカメラ名称を表示するようにしてください。

カメラ制御画面を開いている最中なら、ウィンドのタイトルバーに”*カメラ名*　（動体検知）”と表示点滅を繰り返します。

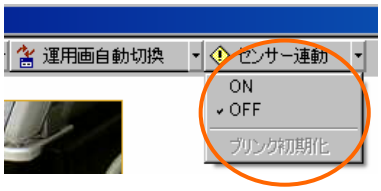
**アラームの確認**：点滅を停止します。

・動体検知が作動したカメラのカメラ制御画面を閉じると、アラームを確認したとみなし点滅が止まります。

・「ブリンク初期化」で一斉に点滅を停止します。（次ページ①参照）

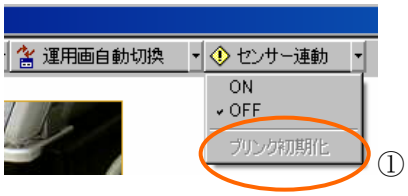
ON：メニューバーの「センサー連動」→「ON」で起動します。

OFF：メニューバーの「センサー連動」→「OFF」で停止します。




**ブリンク初期化**：点滅中の名称を一斉に点滅停止します。

メニューバーの「センサー連動」→「ブリンク初期化」をクリックします。




未確認（点滅中）のカメラが残っている時のみメニューが有効になります。

6）カメラ制御

運用画の映像をクリックするとカメラ制御画面を開きます。カメラ制御画面ではカメラの制御が行えます。

［カメラ制御画面］

## ４－３．カメラ制御画面

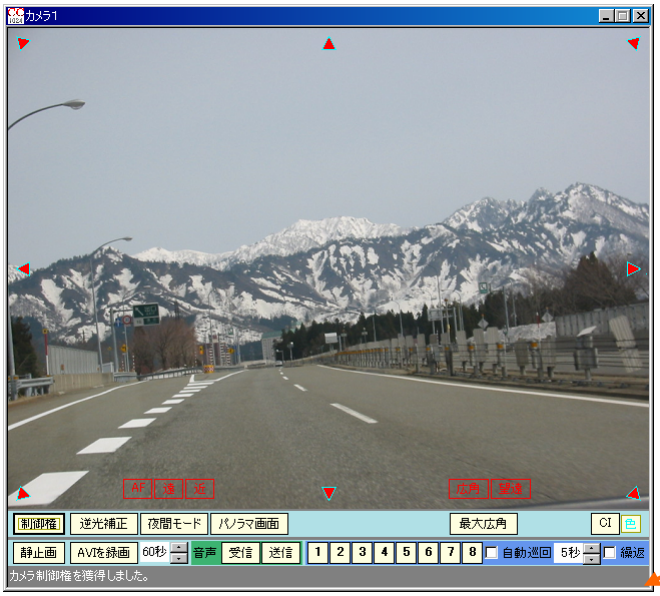
カメラ制御画面ではカメラの制御を行います。

画像サイズは 640×480 ピクセルサイズ固定です。

制御内容はカメラによって異なります。実行できない制御ボタンはディセーブル（操作無効）にしています。

ここでは VB-C50i/R と PTC-107HLU カメラを参考にして説明します。

[VB-C50i/R の制御画面]



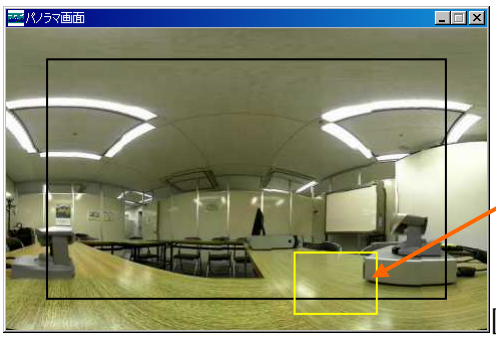

**ステータス表示エリア**：
カメラとの通信状況を表示します。

**制御権**：複数ユーザーがこのカメラを制御することができます。その為、制御前に”制御権”を獲得します。
「制御権」ボタンにアンダーラインがあるときは「制御権」を持っています。
制御権がないときは「制御権」ボタンを押すと”制御権要求”を行います。アンダーラインが出るまで待機してください。

**逆光補正**：逆光補正の ON・OFF を行います。「逆光補正」ボタンにアンダーラインがあるときは逆光補正 ON 中です。「逆光補正」ボタンはトグル操作です。

**夜間モード**：夜間モードの ON・OFF を行います。（照明ではありません）「夜間モード」ボタンにアンダーラインがあれば夜間モードが ON 中です。
「夜間モード」ボタンはトグル操作です。
夜間モード操作行いたい場合は予めにマネージャ画面でパスワード設定を行っておいてください。

**パノラマ画面**：カメラの視野範囲の JPEG を背景としたウィンドを開き、ウィンドの背景をクリックするとクリックした位置にカメラを動かします。
「パノラマ画面」ボタンを押すと「パノラマ画面」を呼び出します。




現映像の表示範囲を枠で現しています。

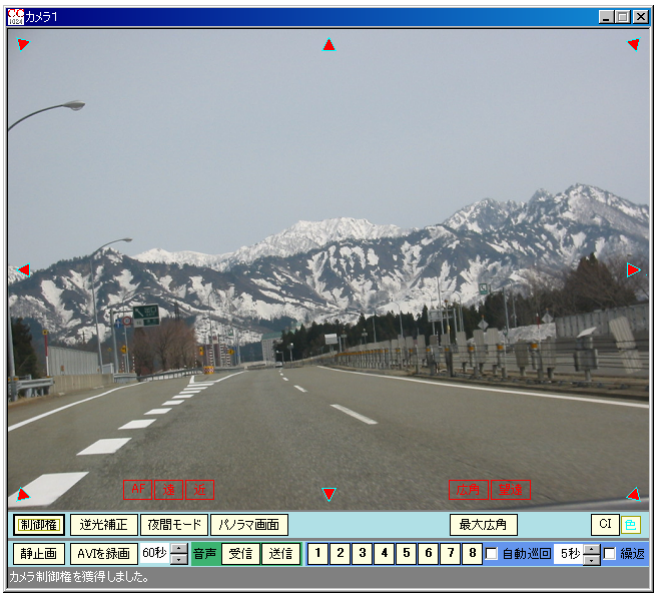
[パノラマ画面]

**補足**：パノラマ画面をメーカーのプログラムで予め作成しておく必要があります。
パノラマ画面の登録がないカメラはこの画面を呼び出せません。「パノラマ画面」ボタンはディセーブル表示になります。（VB-C50i/R のみ対応しています。）

**最大広角**：「最大広角」ボタンを押すと最大広角に制御します。

CI：コントロールインジケータ
映像の上にあるアイコンや文字表示が CI です。アイコンや文字をクリックすると各制御を行います。
下の図は CI を表示している状態です。
補足：各アイコンの有効範囲があります。有効範囲内にカーソルを持っていくと、マウスカーソル・アイコンの表示が変わりますので操作の目安にしてください。

：方向制御実行　：レンズ制御実行　：クイックビュー実行




**各種**：クリックしている間パン又はチルト又は斜め制御を行います。

**AF**：オートフォーカスを実行します。
**遠**：クリックしている間フォーカス遠を実行。
**近**：クリックしている間フォーカス近を実行。
**広角**：クリックしている間広角制御を実行。
**望遠**：クリックしている間望遠制御を実行。

**その他のエリア**：クリックするとクイックビューを実行。

CI を表示していない時の映像クリックはクイックビューワ制御になります。
**補足**：クイックビューとはクリックしたポイントの映像が中心になるようにカメラが動きます。

「CI」ボタンは CI の表示を ON・OFF します。トグル操作です。

**CI 色**：コントロールインジケータの色を変更できます。赤とシアンを用意しています。映像によって見やすい方を選択してください。

「色」ボタンの文字の色がシアンの時に押すと CI を水色に、文字の色が赤いときは CI を赤で表示します。

**静止画**：表示中の映像を JPEG ファイルとして保存します。

保存先は任意です。ファイルダイアログが表示されるので、選択します。

保存ファイル名も任意ですが、デフォルトの名称は下記の通りに決定します。

例）240_20051214173502.JPG

IP アドレスの末尾、年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁、時 2 桁、分 2 桁、秒 2 桁

「静止画」ボタンを押すと静止画を作成します。

**AVI 録画**：最大 60 秒間の AVI ファイルを作成します。

・録画時間　ユーザー設定によります。設定範囲 5 秒～60 秒。（1 秒刻み）

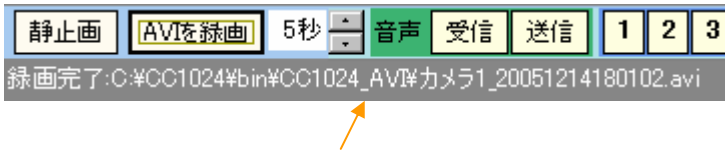
・保存先　カレントフォルダの下の”CC1024_AVI”フォルダに保存します。

保存先は変更できません。

・保存ファイル名　自動的に決定します。

例）カメラ 1 _20051214175609. avi

カメラ名、年 4 桁、月 2 桁、日 2 桁、時 2 桁、分 2 桁、秒 2 桁




ファイルを作成するとステータス表示エリアに保存先とファイル名を表示します。

・録画開始　「AVI を録画」ボタンを押す。ボタンの文字が「キャンセル」に変わります。

・キャンセル　「キャンセル」ボタンを押すと録画を中断します。

**AVI 録画時間**：AVI の録画時間を設定します。

設定範囲 5 秒～60 秒。（1 秒刻み）

**補足**：**AVI 機能は** VB-C50i/R のみ対応しています。

**音声**：音声の送信と受信を行います。

現在受信中、または送信中の場合は「受信」または「送信」ボタンの下にアンダーラインがあれば実行中です。「受信」または「送信」ボタンはトグル操作です。

受信はパスワード設定がなくても行えますが、送信を行いたい場合は予めにマネージャ画面でパスワード設定を行っておいてください。

**プリセット実行**：「１」～「８」のボタンを押すと登録してあるプリセット位置にカメラが動きます。

・プリセットは８種類あります。

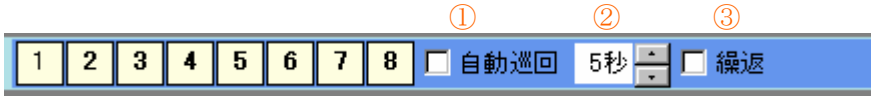
・登録のないプリセットボタンはディセーブル表示です。

**補足**：**カメラ機種によって**プリセットの登録をカメラメーカーのプログラムで予め行っておく必要があります。ここでは登録は行えません。（該当カメラ： VB-C50i/R,VB-C50Fi）CC1024 で登録が可能なカメラのプリセット登録方法に関しては 19 頁を参照してください。

・登録がありボールド文字で表示しているボタンは自動巡回対象プリセットです。

・登録がありノーマル文字で表示しているボタンは自動巡回対象外プリセットです。

・プリセット実行　「１」～「８」のボタンの何れかを押します。




①自動巡回

プリセットの１～８を設定秒間隔で順番に実行していきます。

但し、自動巡回の対象から外されたプリセットはスキップします。

最後のプリセットまで実行したら終了します。

但し③繰り返し設定になっていた場合は若番のプリセットに戻って繰り返し巡回します。

・開始　「自動巡回」をチェックします。

・停止　「自動巡回」のチェックを外します。

②自動巡回時間設定

自動巡回のインターバルを設定します。設定範囲 5 秒～60 秒。（１秒刻み）

③自動巡回繰り返し

自動巡回を繰り返し行います。「自動巡回」のチェックを外すか（停止要求）、制御画面を閉じるまでは停止しません。

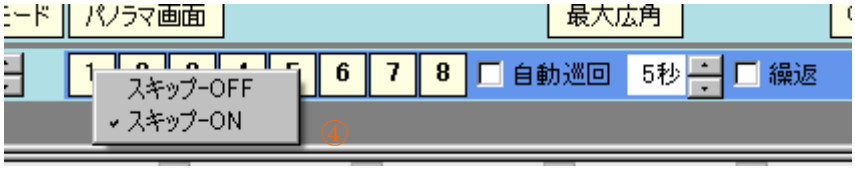
・ON　「繰返」をチェックする。

・OFF　「繰返」のチェックを外す。

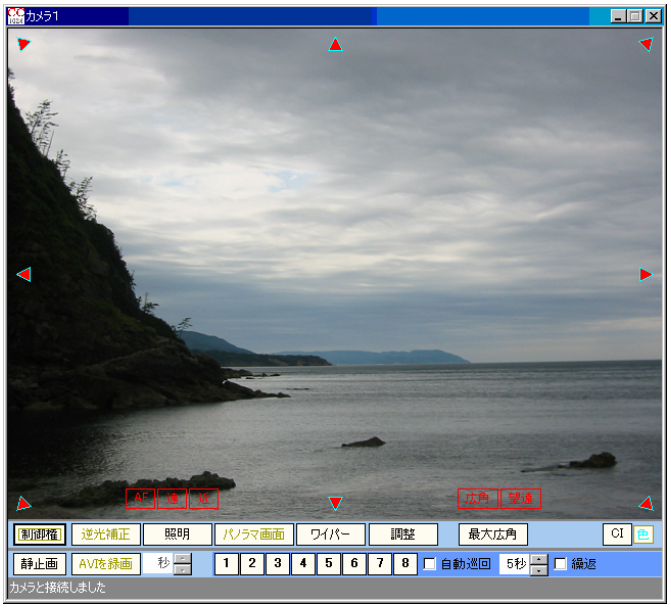
④自動巡回設定

プリセット毎に自動巡回の対象設定を行います。

該当プリセットを右クリック→POP-UP→「スキップ ON」または「スキップ OFF」を選択します。



[PTC-107 カメラのカメラ制御画面]




**制御権**:このカメラに制御権のやりとりはありません。LAN 回線エラーの時にはカメラに再接続します。
「制御権」ボタンを押すとカメラと通信断の場合は再接続を行います。

**照明**：照明 ON／OFF を行います。「照明」ボタンにアンダーラインがあるときは照明 ON 中です。
「照明」ボタンはトグル操作です。

**ワイパー**：ワイパー ON／OFF を行います。「ワイパー」ボタンを押している間 ON 制御を行います。

調整：PTC-107HLU カメラはプリセットの登録と雲台のモーター速度の調整が行えます。
「調整」ボタンを押すと次のウィンドを開きます。

**プリセット登録**：プリセットの登録を行います。

・登録方法

「登録」ボタンで”登録モード”を切替えます。トグル操作。

「登録」ボタンが濃いピンク色の時：登録モード

「登録」ボタンが薄いピンク色の時（上の絵の色）：実行モード

「登録」ボタンが濃い色の時に「１」～「８」ボタンを押すと、押したボタンの番号で現在のカメラポジションをプリッセット登録する。一回登録すると、”登録モード”から”実行モード”に戻るので登録の度に”登録モード”に切替えます。

「登録」ボタンが薄い色の時に「１」～「８」ボタンを押すと、登録してあるプリセットを実行します。

**速度設定**：パン・チルトのモーター速度設定を行います。

“自動モード”の速度設定と”手動モード”の速度設定があります。

まずどちらのモードで設定するのかを選択します。

①モード選択を行います。

②パンモーター速度を設定します。

設定範囲１～125。

③チルトモーター速度を設定します。

設定範囲１～125。